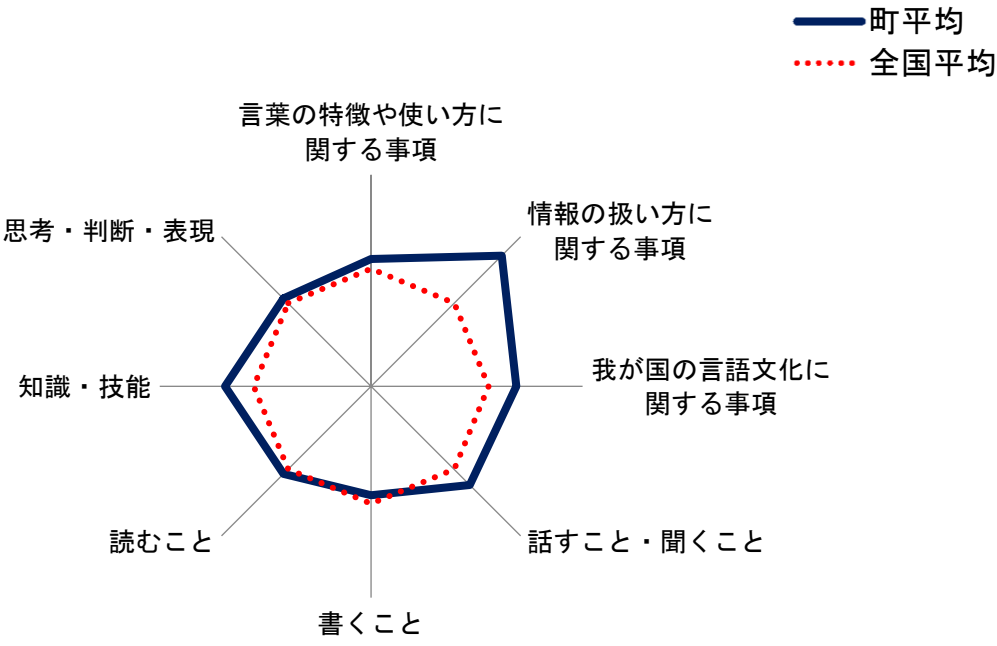
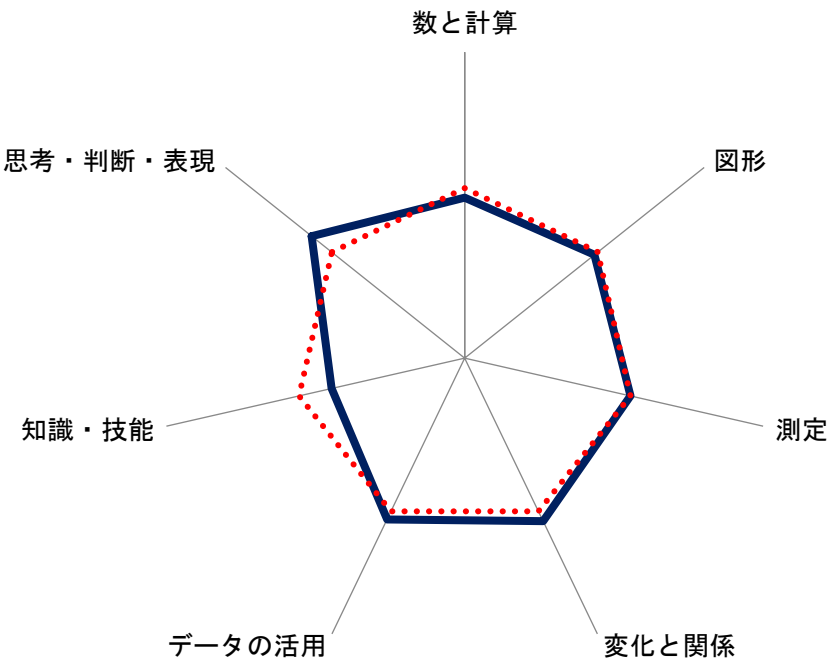


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

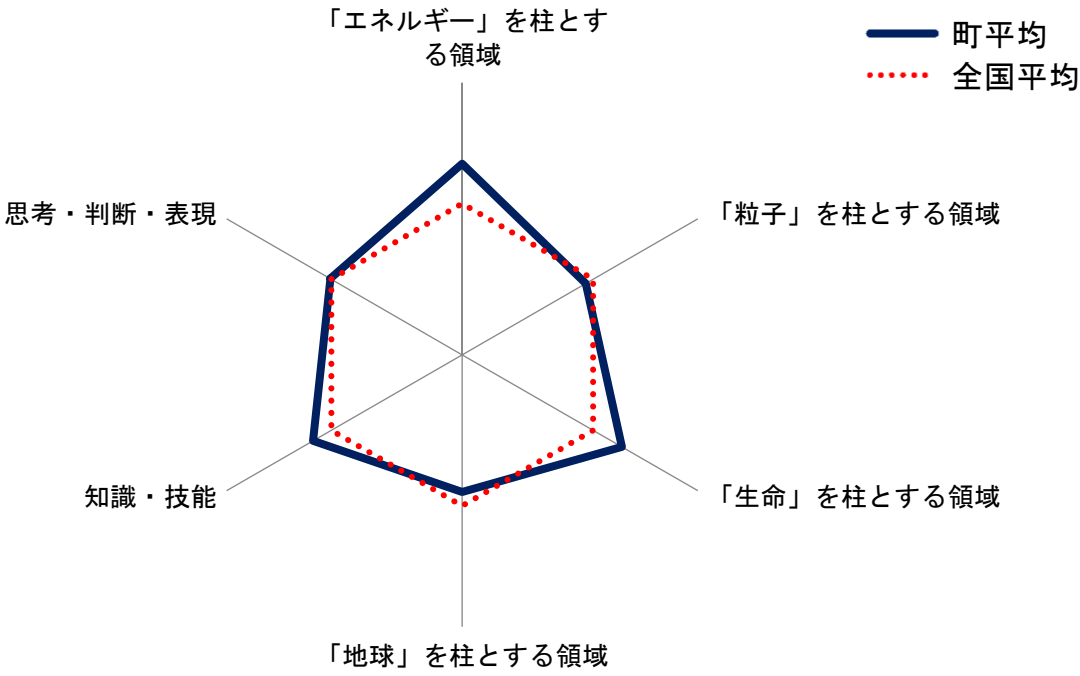


【算数】

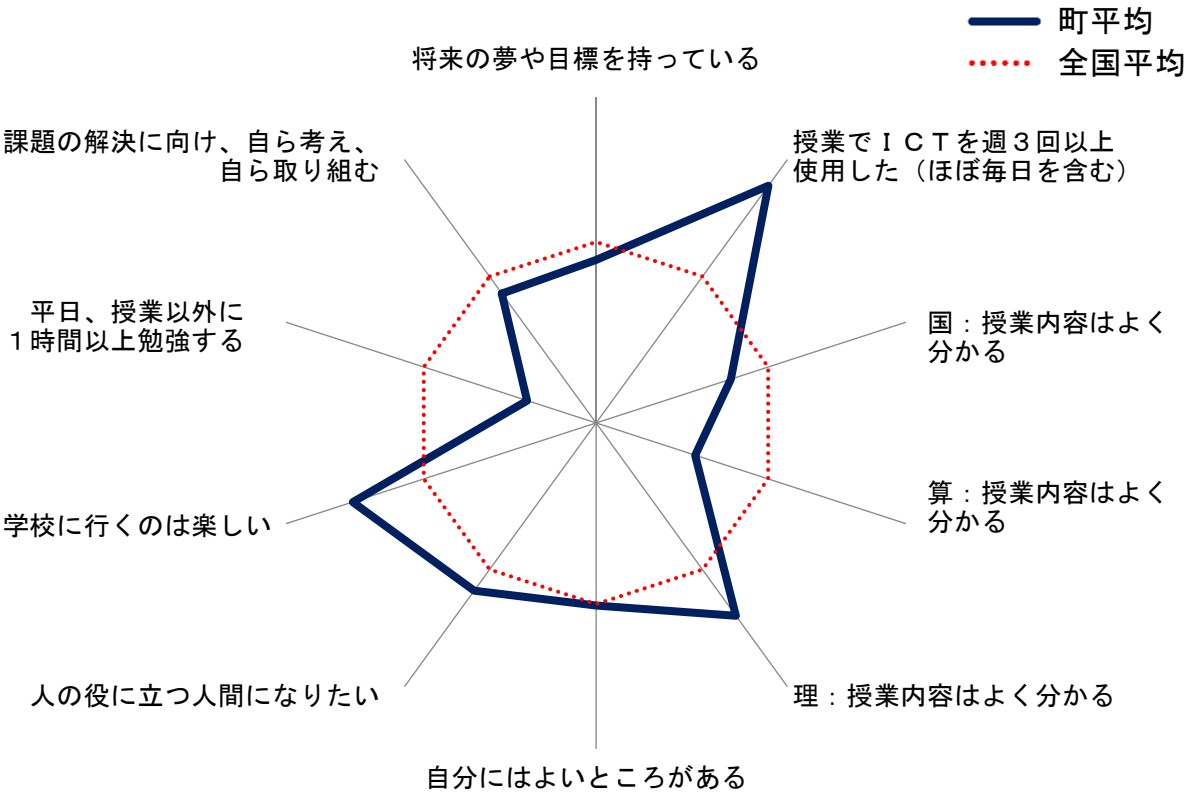


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、昨年度全国平均を大きく下回っていた国語と算数の多くの項目で全国平均を上回り、大きな改善が見られる。特に国語の「情報の扱い方に関する事項」の項目は、全国平均を大きく上回り、良好な結果である。一方、算数の「知識・技能」の項目が全国平均を大きく下回っており、課題である。今後は、児童一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を継続するとともに、知識及び技能の確実な定着と、それを基盤とした思考力、判断力、表現力等の育成を相互に関連付けた授業づくりにより、学びの質を高める取組が望まれる。

児童質問調査では「平日、授業以外に1時間以上勉強する」、算数の「授業内容はよく分かる」の項目が、全国平均を大きく下回っている。一方、「授業でICTを週3回以上使用した」の項目は、昨年度全国平均を下回っていたが、今年度大きく改善されている。今後は、児童が「分かる」「できる」を実感できる授業づくりを推進していくとともに、家庭学習の充実を図るための取組を継続していくことが望まれる。